

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2021



ひがしっ子 5月



園長コラム

新年度がスタートして1か月が経ちました。

今年の春は天候にも恵まれ、毎日外で遊ぶ姿が見られ、本格的に裸足保育も始まり、東園らしい姿が見られるようになってきました。新入園児にはまだ慣れない姿も見られますが、あっという間に裸足になりたがり、外に走って行く姿が見られることでしょう。

今月の写真を見直していると、青と緑のコントラストが素敵な写真が多くありました。農園や田んぼ、竹林など数え切れません。そういった場所で、日常的に遊ぶことで、自然とひがしっ子になってくるのだと思います。これから夏にかけて、自然豊かな中で過ごすお子さんの様子を沢山お届けしたいと思います。

この時期の年長さんはいつも驚かせてくれます。

年中さんから1か月もたっていないのに、顔つきや言葉づかいなど、自然と年長さんらしくなるのです。もちろん個人差はありますが、毎年必ずビックリするくらい変わる子がいるので驚かさせられます。在園歴はそれぞれですが、これまで共に過ごしてきた友達の振る舞いを見ながら、自然と身についてくることなのでしょう。こども達は見ていないようでいて、本当によく見ています。発揮できるかどうかは、そうしたいと思えるメンタルがあるかどうかがとても大切なようです。

古来日本ではハレ（非日常）とケ（日常）という概念を用いて生活を豊かにしてきました。「晴れの舞台」は「ハレ＝非日常の舞台」とも読み替えられます。行事というハレの舞台、あるいはそこに向かう間にいつも以上に気持ちを沢山動かしたおかげで、自分という器も一回り大きくなります。ハレが終わり、再びケ（日常）の中で、大きくなった器に沢山のモノやコトを入れていく、そんな東園でのサイクルになって欲しいと思っています。

3～5歳児クラスの1か月

大切な日常

本当に気持ちのいい日が続きました。こども達も毎日のように、農園や近所に散歩に行ってきて、草花などを宝物のように持ち帰ってきました。冒険談のように、目を輝かせて沢山話してくれました。



自然に沢山触れて

今年は桜が早いだけでなく、たけのこの育ちもとても早い年でした。こども達が喜びで見つけては掘っている姿に、園内で沢山の自然体験ができるようにしてきて良かったと改めて感じさせられました。厨房の栄養士と一緒に収穫して、厨房に持って行って調理してもらう姿も多く見られ、冬とはまた違い、力強い自然のエネルギーを十分に包まれた一か月でした。



青空の下で

外で元気に走り回るこども達の视界にはこいのぼりがいつも泳いでいて、こども達が毎日のようにこいのぼりを話題にしていました。自分たちで作ったこいのぼりを飾ったときの喜びの声が写真からも伝わってきませんか。



0～2歳児クラスの1か月

お外を走り回って

穏やかな春の陽気が続いたこともあり、毎日園庭で穏やかに遊ぶ時間が沢山とれました。好き勝手に遊んでいるように見えても、ときおり保育者を見つけるとは安心したようで、また黙々と遊んでいる姿が沢山ありました。こうやって心のよりどころを持ちながら、自分の心と体の行動範囲を少しずつ広げているのがよく感じられる一か月でした。

